

# あぐりめ〜る新川

第65号(平成26年12月発行)

富山県新川農林振興センター

〒938-0801 黒部市荻生 3200

TEL: (0765)

担い手支援課 52-0268, 52-5192

農業普及課 52-0094, 52-0945

FAX: (0765) 52-3115

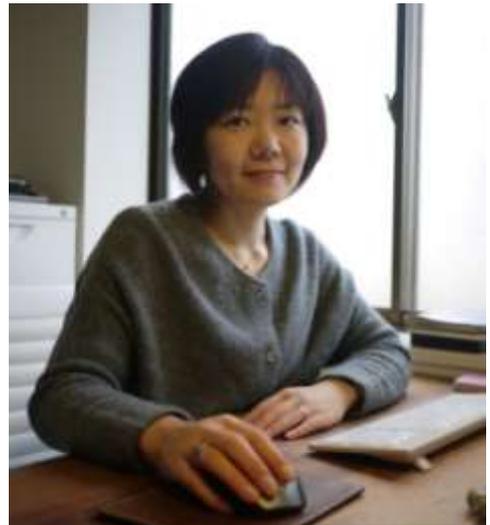
[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1630/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1630/)

## 新川農業の未来を担う人 ～第11回～ 濱田 律子さん(黒部市)

### ～「騙されて？」カナダからお嫁入り。こだわりの米作りを支える～

観光ガイドブックを片手にお嫁にいらした律子さんは千葉県に育ち。大学卒業後にカナダに渡り、ツアーガイドとして旅行代理店に勤務されていた折、後に濱田ファームの代表となる智和氏と出会いました。3年後、ご結婚を機に就農、濱田ファームの経理、直売、情報発信を担当し、こだわりの美味しい米づくりをフルサポートしています。

特に、米づくりの様子と米づくりに対する熱い思いが伝わる「濱田ファーム便り」や豊富なコンテンツのホームページは、律子さんの真骨頂。こまめなブログ更新、facebook 等によるリアルタイムな情報発信は、美しい農村風景と軽妙な語り口に彩られ、全国の消費者、生産者との交流を深めています。



濱田ファームの HP「[田んぼマスターへの道](http://www.hamadafarm.com/)」でほぼ毎日ブログを更新 <http://www.hamadafarm.com/>

### ～「お米のプロフェッショナル」としてスキルアップを目指す～

持ち前の向学心と好奇心から、米の等級がいかんしてつけられるのか？や、食味の良い米の評価について疑問、関心を抱き、「農産物検査員」の資格を取得、管内の農業法人の米の格付けを行っています。この度、お米のプロとして、消費者に正しい情報を伝えるため「米食味鑑定士(お米ソムリエ)」にも挑戦し、みごと合格されました。

お米が育つ環境、そこから育まれた文化、その良さを広め、そして次代につなぎたい。そんなシンプルな想いが、律子さんの活動の原点となっています。



カナダ流「しっかり働き、ゆっくり遊ぶ」ライフスタイル。活動は、様々なマスコミでも紹介されています。

P. 2, 3…【平成26年の稲作を振り返って】～技術の検証と今後の課題～

P. 4, 5…【Let's 園芸!】 野菜の機械化体系を紹介します ～白ねぎ、さといも～

P. 6…6次産業化へのチャレンジ ～その3～ 6次産業化への支援に向けた手続き

P. 7…26年産米の米価下落に対する経営支援措置について～運転資金の借入に伴う金利負担の軽減措置のご紹介～

P. 8…新規就農者の市町認定制度がスタート!

【耳より情報】平成26年度農業ニューリーダー育成講座を開催します♪♪

## 平成26年の稲作を振り返って ～技術の検証と今後の課題～

平成24年、25年と米の品質不良が続き、26年はまさに崖っぷちの年でした。8月の記録的な日照不足（平年比6割）の影響が懸念されましたが、生産者の皆様の的確な栽培管理により、品質・収量は良好でした。

新川地区のうるち玄米一等比率は96.5%と昨年より約36ポイント向上し、県平均を10ポイント上回りました（表1）。作柄は、作況指数101（10a当たり収量541kg）の平年並となりました。

26年の稲作を振り返って、技術の実施状況を検証し、今後の課題を考えてみましょう。

### 1 初期分けつの確保

近年、穂数の不足により一穂粒数が過剰になり、米の品質が低下する傾向にあります。穂数を増やすため、初期の強勢な分けつを多く確保する必要があります。

26年は、初期茎数が少なめに推移し（図1）、課題が残りました。初期分けつの確保のため、苗質の向上、70株植え、深植えの防止、初期の浅水管理の徹底・励行がポイントです。

表1 うるち玄米一等比率

(%)

区分	25年産	26年産	（品種別内訳）		
			コシヒカリ	てんたかく	てんこもり
新川地区	60.6	96.5	96.8	93.8	98.2
富山県	72.6	86.5	85.9	88.4	84.8

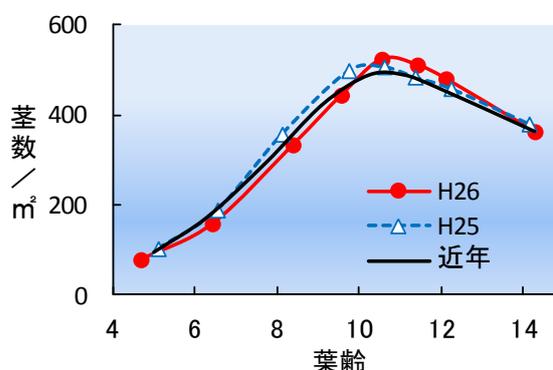


図1 茎数の推移(新川地区コシヒカリ調査ほ平均)

### 2 穂数と粒数のコントロール

高温登熟でも品質の安定を確保するため、穂数と粒数を適正にすることが肝要です。

**目標：一穂粒数70粒 × ㎡当たり穂数400本 = ㎡当たり粒数28,000粒**

猛暑に見舞われ品質が大きく低下した平成22年は、栽植株数が少なく㎡当たり穂数が不足し、一穂粒数が過剰でした。26年は、栽植株数が増え、中干し等の水管理や適切な施肥管理が励行されたことにより、穂数や粒数は適正レベルに近づきました（図2）。このことは、一等米比率が向上した大きな要因といえます。

一方、一穂粒数は依然としてバラツキが大きく、8月の日照不足の中で、粒数が過剰の場合に乳心白粒が発生している事例も見られ（図3）、生育のコントロールは引き続き重要です。また、適切な水管理により、葉色をしっかりとコントロールしていくことも必要です。

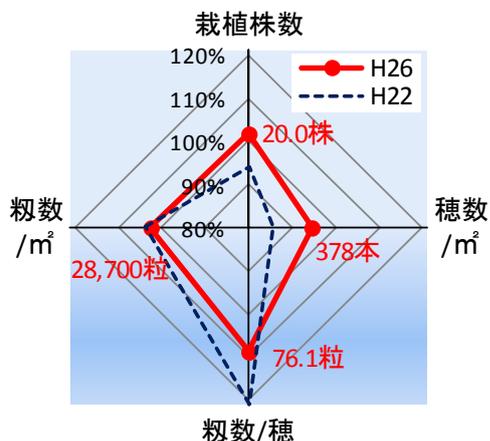


図2 穂数と粒数の目標値に対する割合  
(新川地区コシヒカリ調査ほ平均)

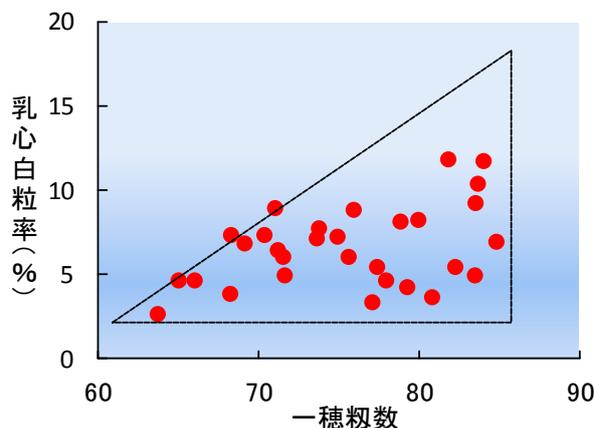


図3 一穂粒数と乳心白粒率との関係  
(新川地区コシヒカリ調査ほ)

### 3 高温登熟の回避

平成 26 年は、出穂期が遅いほど出穂後 20 日間の平均気温は低い傾向があり、登熟期間の気温は適度となりました（図 4）。ただし、ごく早く出穂した稲は出穂後 10 日間の登熟初期に高温に遭い、背・基白粒の発生により品質が低下しました。

コシヒカリの品質を高位安定化させるため、8 月 5 日以降の出穂を目標として、5 月 15 日を中心に田植えを行いましょ。

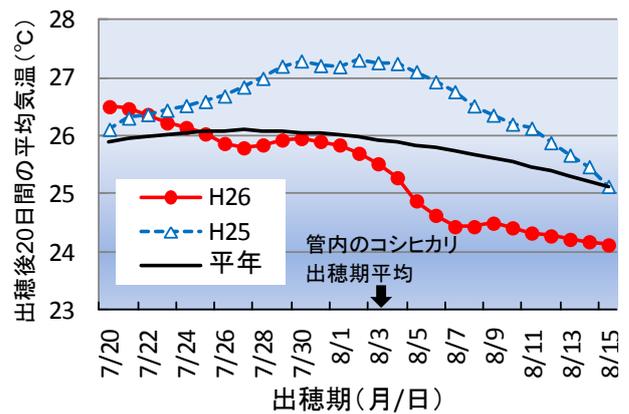


図 4 出穂後 20 日間の平均気温 (魚津アメダス)

### 4 中干しの徹底と根づくり

前年に比べ中干し実施率は高まり（図 5）、6 月は梅雨の期間にもかかわらず無降雨日が続いたこともあって、中干しの効果は高まりました。中干しの励行により、根張りは良くなったものと推察されます（図 6）。健全な稲づくりの基本は根づくりであり、気象変動が大きい中で中干しは大変重要な技術です。

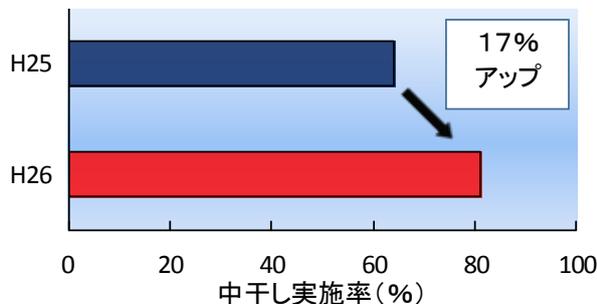


図 5 中干し実施率の H25 と H26 との比較 (新川管内)

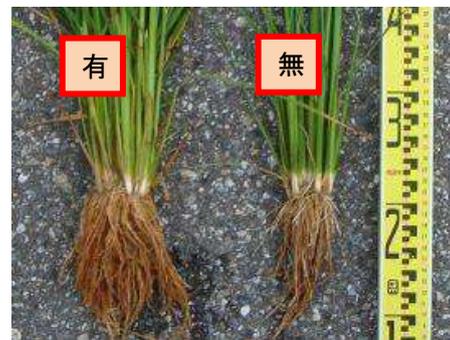


図 6 中干しの有無による根量の違い

### 5 早生「てんたかく」、晩生「てんこもり」の多収実証

「てんたかく」や「てんこもり」の多収技術（栽植株数の増加、増施など）の実証試験を行ったところ、平均で 35~40 kg/10a 増収しました（図 7）。大規模経営では、作期分散のため、コシヒカりに偏重した作付けを是正し、早生や晩生の作付けを拡大しましょ。

#### 「てんたかく」栽培のポイント

- 穂数の増加により収量を確保するため、
- ① 窒素施用量はコシヒカリより 2 割程度増量
  - ② 栽植密度は坪 70 株以上
  - ③ 幼穂形成期以降は葉色 4.0 を下回らない (葉色が薄い場合は、幼穂形成期から 1 週間以内に N 成分で 0.7~1.0kg/10a 追肥)

#### 「てんこもり」栽培のポイント

- ① 穂ばらみ期の紋枯病防除を徹底
- ② 移植栽培と比べて、直播栽培での収量低下が少ないため、積極的に直播栽培を実施

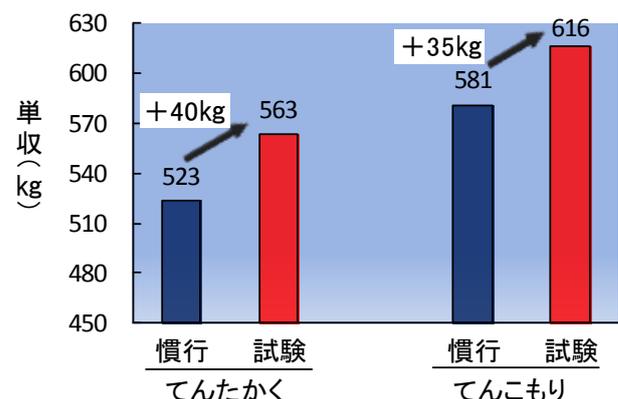


図 7 「てんたかく」と「てんこもり」の多収技術実証試験における収量比較 (県平均)

#### 多収技術実証試験の取組例

- (高温に強い稲づくり対策事業、県内てんたかく 39 ヶ所・てんこもり 19 ヶ所)
- ① 70 株植え、② 基肥の増量、③ 中間追肥の施用、④ 堆肥の施用など

# 【Let's 園芸！】 野菜の機械化体系を紹介します ～白ねぎ、さといも～

## 白ねぎ

「富山しろねぎ」はブランド化され、県内外の市場からの評価が高く販路が安定しているため、露地野菜の中では単位面積あたりの所得が高い品目です。

白ねぎ栽培は、主穀作作業との競合も比較的少なく、主要作業（播種、定植、収穫、調製等）ごとに専用機械があり、簡易なものや高性能なもの組み合わせなど栽培規模に応じた機械化一貫体系が確立しています。今回は高性能機械を活用した3ha規模の機械化体系を紹介します。

### 育苗



セル全自動播種機

### 定植



全自動移植機(歩行1条植え)

### 土寄せ



ハイクリアランス乗用管理機

### 収穫



自走式収穫機

### 調製



根葉切り皮むき機



全自動結束機

### ○10aあたり労働時間(時間)

作業名	労働時間
圃場準備	5
播種・育苗	16
定植	7
土寄せ	18
防除	7
収穫	30
調製	181
合計	264

### ○使用機械・参考価格

(千円)

セル全自動播種機	543( 77)
全自動移植機	929(132)
ハイクリアランス乗用管理機 (ブーム、カルチ、施肥機込)	7,635(542) 白ねぎ負担割合 50%
自走式収穫機	3,962(563)
根葉切り皮むき機	2,092(297)
全自動結束機	2,048(291)

( ) 内は減価償却費/年、耐用年数：7年

# さといも

さといもは、水稲との作業競合が少ない品目です。積雪前に収穫した株の貯蔵出荷を行えば、冬期間の労力を有効に活用することができます。

圃場での作業は機械化が可能で、省力的に栽培することができます。今回は、高品質生産のための植付けの深さを確実に確保でき、うね成型とマルチを同時に作業できる植付け機と、自走式収穫機を紹介します。

## 定植



うね成型・植付け・マルチ同時作業機

～特長～

- ・適用トラクタ：15～25ps
- ・うね間隔：70cm～
- ・植付けの深さ：10～18cm
- ・適用マルチ幅：90～120cm
- ・フロントに施肥機を付けると、うね成型・植付け・マルチ・施肥を同時に行うことができます。

## 収穫



自走式いも類収穫機

～特長～

- ・掘取り幅：60cm
- ・掘取り深さ：16～26cm
- ・うね間隔：70cm～
- ・スキ先形状：マガリスキ
- ・作業能率：102～270(分/10a、うね間80cm)
- ・掘取りコンベアと車速は細やかな調節が行えるので圃場条件に合わせた掘取りが行えます。
- ・粘土質の土壌でも2箇所を設置した振動装置により強制的に土をふるい落とします。

## ○10aあたり労働時間（時間）

作業名	労働時間
圃場準備	30
定植	20
芽かき・除草	25
防除・追肥	10
掘り取り	50
調製	125
その他	20
合計	280

## ○使用機械・参考価格（千円）

エイブルプランター	948(135)
自走式いも類収穫機	2,904(415)

（ ）内は減価償却費／年、耐用年数：7年

## 6次産業化へのチャレンジ ～その3～ 6次産業化への支援に向けた手続き

### ○ 6次産業化のための支援制度

6次産業化を実践しようとする時、新たな商品化に向けた試作、販路などの調査費用や加工用の機械、器具等の取得が必要になることがあります。

そのため、現在、国や県では下表の補助事業を設け、6次産業化の実践者を支援しています。

	国の制度		県の制度
事業名	6次産業化ネットワーク活動整備事業	6次産業化ネットワーク活動推進事業	6次産業化モデル育成事業
補助対象者	6次産業化法に基づく総合化事業計画認定者	農林漁業者の組織する団体	6次産業化に取り組む農林漁業者で認定農業者又は団体
事業内容	・加工施設や機材の整備	・新しい商品の開発 ・ニーズ調査や試作 ・商談会の参加など	・新しい商品の開発 ・販路の開拓 ・加工機材整備など
補助率	国費：1/2 (H27年度～上限額1億円)	国費：1/2 [総合化事業計画認定者は2/3]	県費：1/2(補助上限額は2,500千円、また医福食農が連携した開発の場合補助上限額は2年間で3,000千円)

注) 事業要件や具体的な事業内容は、経営支援班へお問い合わせ下さい(52-0268)。

### ○総合化事業計画の認定に向けた手続き

国の支援制度を受けるには、上表中に下線表記されている「総合化事業計画認定者」になることが必要ことや補助金の上限額など有利になることがわかります。

この手続きは、まず、自分の6次産業化に対する計画を定まった様式「総合化事業計画」にそって作成し、国に申請します。申請された計画は、国の審査を経て認定が判断されます。

ところで、「総合化事業計画」を作成するに当っては、専門家からのアドバイスを無料で受けることができます。

各都道府県では、「6次産業化サポートセンター」を設置し(富山県の場合、富山県農業会議に設置)、農林漁業者からの要請に応じて「6次産業化プランナー」という専門家を派遣する国の制度を運用しています。

県では下表の6次産業化プランナーを配置していますので、経営支援班へお問い合わせの上、「総合化事業計画」を作成していきましょう。

氏名	所属	専門分野
五十嵐 篤	(株)ジェック経営コンサルタント	商品開発, マーケティング, ブランド化
小島 雅史	(株)ジェック経営コンサルタント	地域資源発掘, マーケティング, ブランド化
濱田 利幸	はまだフードアシスタント	売れる商品つくりと売れる販売方法
大塚 耕太郎	(株)KOフードテック	食品加工, 流通
丸亀 徹	フリーコンサルタント	流通, 商品販売促進
井澤 岳志	(株)ライズウィル	飲食業, 小売業の開業支援, 店舗運営
羽根 由	(株)PCO	マーケティング, 商品化, デザイン

注) 相談内容によっては、県だけでなく、国の「6次産業化プランナー」の派遣を受けることができます。

## 26年産米の米価下落に対する経営支援措置について ～運転資金の借入に伴う金利負担の軽減措置のご紹介～

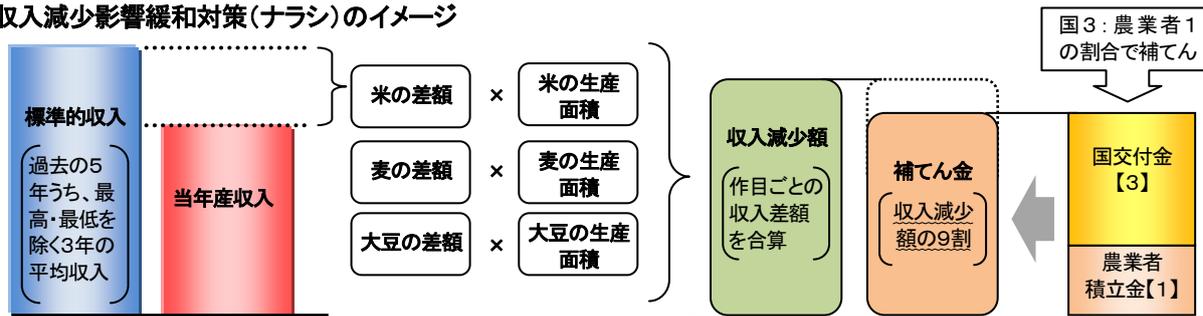
管内の担い手農家の皆さんにおいては、26年産米の概算価格の下落や助成金(米の直接支払交付金)の減額に伴う収入の減少により、年末から年明けにかけての資金繰り計画に苦慮されていることと思います。

米価下落等による収入減少に対しては、来年の6月ごろに「収入減少影響緩和対策(ナラシ)」による交付金が交付されますが、そのほか、当面の資金繰りへの支援として、各種運転資金を借り入れた農業者に対する金利負担の軽減措置が講じられることとなりましたのでご紹介します。

### おさらい 収入減少影響緩和対策(ナラシ)について

収入減少影響緩和対策(ナラシ)は、当年産の販売収入(米、麦、大豆)の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補てんするものです。

#### ○収入減少影響緩和対策(ナラシ)のイメージ



※標準的収入額、当年産収入は県単位で算定。

ナラシ交付金の単価算定には、27年3月までの各作物(米、麦、大豆)の平均販売価格が用いられるため、交付金の交付時期は27年6月ごろとなります。このため、当面の資金繰りの安定のために運転資金を借り入れる農業者に対して金利負担の軽減などの支援措置が講じられることとなりました。(以下の記事参照)

## NEWS 運転資金の借入に伴う金利負担の軽減措置の概要

### 日本政策金融公庫資金の金利負担軽減措置

#### 農林漁業セーフティネット資金の特例措置

日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金で長期(償還期限10年以内)の運転資金を借り入れる農業者に対し、貸付当初1年間の利息を実質無利子化します。

- 1 融資機関: 日本政策金融公庫
- 2 融資対象者:  
【個人の場合】農業所得が総所得の過半、又は農業粗収益が200万以上  
【法人等の場合】農業売上高が総売上高の過半、又は農業売上高が1,000万円以上
- 3 融資限度額: 600万円以内(特認あり)
- 4 利率: 無利子(貸付当初1年限り、以降は有利子)
- 5 償還期限: 10年以内(うち据置期間3年以内)
- 6 特例の対象期間: 26年7月16日から27年3月31日までに貸付決定したもの

問い合わせ先 日本政策金融公庫富山支店

### 県単独資金の金利負担軽減措置

#### 農業振興資金の特別枠の設置

県単独資金(農業振興資金)で短期(償還期限2年以内)の運転資金を借り入れる農業者に対し、県・市町・JAが利子補給を行い、実質無利子化します。

- 1 融資機関: 農業協同組合(JA)
- 2 融資対象者:  
国の収入減少影響緩和対策(ナラシ)に加入する26年産米の生産者
- 3 融資限度額:  
500万円以内(ただし、ナラシ交付金相当額を限度とする)
- 4 利率: 無利子(県・市町・JAで利子補給)
- 5 償還期限: 2年以内
- 6 特別枠の対象期間: 26年12月15日(予定)から27年6月30日までに貸付決定したもの

問い合わせ先 各JAの融資担当課

### JA単独資金の金利負担軽減措置

JAの単独資金においても、金利負担の軽減措置等が用意されていますので、詳しくは融資担当課へお問合せ下さい。

米の需給状況に改善が見られない中で、米価についても先が見通せない状況です。運転資金の借入により一時的な資金繰りは改善しますが、利益が増加するわけではありません。稲作農家の皆さんにとっては厳しい時代ではありますが、こういった時代だからこそ一層のコスト削減に努め、利益を確保し、経営の安定につなげていきましょう。

## 新規就農者の市町認定制度がスタート！

平成 26 年度から、新たに農業経営の開始を希望する方は、「青年等就農計画」又は「青年等就農ビジョン」を作成し、経営希望地の市町村長へ提出していくことになりました。

センター管内の魚津市、黒部市、入善町、朝日町の 4 市町とも、それらの計画を受理、審査、認定する体制を整えてきました。

今後、新たに農業経営の開始を希望する方は、以下の手続きで事務が進められていくので、紹介します。なお、詳細は、当センター経営支援班へお問い合わせ下さい(TEL:52-0268)。

項目	青年等就農計画	青年等就農ビジョン
年齢の要件	①18 歳以上 45 歳未満〔特認：45 歳以上 50 歳未満は市町村長の定めによる〕 ②45 歳以上 65 歳未満で他産業の経営管理に 3 年以上従事した者	
農業経験の有無	農業経験があり、即時に経営開始が可能と思われる方	農業経験が乏しく、先進農家やとやま農業未来カレッジへの通学など、研修を受けたい方 注) 研修終了後改めて青年等就農計画を提出していくことになります。
申請月と期日	原則として、各年の 1 月、4 月、7 月、10 月の末日	
提出書類	規定に沿った様式と経営計画の資料(詳細は経営支援班へお問い合わせ下さい)	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年就農給付金(経営開始型) [但し、就農時が 45 歳未満の方のみ]</li> <li>・青年等就農資金</li> <li>・経営所得安定対策</li> <li>・経営体育成支援事業(融資主体型)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年就農給付金(準備型)</li> <li>・就農準備研修</li> </ul> [但し、いずれも就農時が 45 歳未満の方のみ]

## 耳より情報・・・平成 26 年度農業ニューリーダー育成講座を開催します♪♪

### ◆ 6 次産業化コース (6 次産業化の経営展開を考えている農業法人等の皆さん 15 名程度)

実施日 (5 日間)	内 容	講 師
①1 月 15 日 ②1 月 20 日 ③2 月 5 日 ④2 月 19 日 ⑤3 月 5 日 時間：14 時～16 時 場所：黒部庁舎会議室	① 6 次産業化とは？考え方と制度 ② 6 次産業化実践事例紹介 ③ 実践に向けて～加工と商品開発 ④ 実践に向けて～販売方法・意見交換 ⑤ 商談の進め方とビジネスマナー	6 次産業化プランナー 他 樽蔵産業(株) 石王誠氏 トナミ醤油(株) 宅間孔一氏 いきいき富山館 大谷洋子氏 富山情報ビジネス専門学校

### ◆ 「起業のいろは」コース (農産加工での起業に関心のある皆さん 10 名程度)

実施日 (3 日間)	内 容
①1 月 27 日 ②2 月 10 日 ③2 月 24 日 AM 講義 PM 実習 時間：10 時～16 時 場所：入善町健康交流プラザ サンウエル研修室・調理室	許可が必要な加工について、基礎知識の講義と専門家の実習で起業の基礎を学びます。 <講義メニューと実習講師> ② 食店営業(弁当) 食のソカウトブーケ 大畑洋子氏 ② 菓子製造業(和洋菓子) スイーツオブ ももほのか 清水祥子氏 ③ 総菜製造業 魚津ご城下の台所 藤吉 大野慎太郎氏

いずれのコースも受講料 1,000 円を初回に徴収します。お申込み：経営支援班 (TEL:52-0268)